

例会日：毎週木曜日 18時30分 例会場：関観光ホテル 住所：岐阜県関市池尻 91-2
事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1階D室 TEL (0575) 24-7332 FAX (0575) 23-5278
会長 藤村 伸隆 副会長 山本 義樹 幹事 森 敬 クラブ会報委員長 長谷部 貴司

2022～2023 年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ

「いつも一緒に笑い・夢を描き・そして成長しよう」



4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第 2099 回例会 2023 年 4 月 27 日 (木) 担当：会場監督
会員卓話 川上 勉 君 テーマ 「親睦と奉仕 (例会出席)」

前例会の記録 第 2098 回 2023 年 4 月 20 日 (木)
クラブ・アッセンブリー地区研修・協議会報告
／担当 次期会長・幹事

*ロータリーソング「我等の生業」 斉唱

*会長あいさつ 藤村伸隆会長

こんばんは、本日の例会は 4 月 15 日に開催されました地区研修・協議会につきまして土屋さん、前田さん、西田さん、大藪さん以上 4 名の皆さんに発表頂きます。どうぞよろしくお願ひ致します。

4 月 4 日火曜日に関中央ロータリークラブとして関市民花火大会実行委員会に出席しました。8 月 13 日に開催されます。雨天の場合は 8 月 15 日に延期になります。又 4 月 14 日金曜日に津保川花火大会の実行委員会にふれまちとして出席しました。こちらは 大藪さんが実行委員長です。8 月 15 日に開催され、雨天の場合は 8 月 17 日に延期になります。

こうしたイベントの実行委員会等に出席していますと、もう去年との違いにびっくりしております。ま



ず開催をどうしますか？ 開催したらコロナ禍の対策についてどうしましょうか？それが今年是最初から開催ありきでコロナ感染のお話もほとんど出てきません。本当に嬉しい事だと思います。しかしながら両実行委員会にマスク無しで最初は会場へ入ったのですがほとんどの方がマスクをつけてみえたので私もポケットからマスクをとりだしつけました。5 月 8 日にコロナ感染症は 2 類から 5 類に移行されますが、それ以降はマスクの着用も減っていくのでしょうか？大変興味がありますが、とにかくこうしていろいろな行事、イベントが戻るのを楽しみにしております。地域の祭りも 4 年ぶりに再会しましたが、やはり元の形での再会はできませんでした。大変な過疎化の中での 4 年近いブランクは中々取り返せなくてかなり地域で頑張らないと元の形には戻せないと実感しております。コロナ禍が終わり今度はいろんな事を通常に戻す事が大変なんじゃないかと思っています。

関中央ロータリーの活動につきましては、もう来期、森会長エレクトのもと、しっかりとコロナ禍以前に戻ると期待しております。

*「C. A 地区研修・協議会報告」

土屋敏幸君

当日の日程及び全流れについて

今回の私の担当は、地区研修・協議会報告の当日の日程と全体の流れについてである。まず10時に関



シティーターミナルに集合し、長良観光バスに乗り8人で出発した。高井良祐会員は、直接、現地のパロー文化ホール（多治見市文化会館）で合流した。総勢9名である。雨の中、外に張られたテントの中で昼食の弁当を食べたのだが、私にとっては量が少なかつたせいか、余計に空腹を感じてしまった。早めに来たので点鐘まで1時間以上あり、暖房もなく寒かつたので居眠りもできなかつた。

まず13時より大ホールにて開会セッションがあり、点鐘、国歌・奉仕の理想斉唱。ホストクラブ会長水野氏による歓迎の言葉。篠原ガバナーエレクトによる挨拶と特別出演者紹介。山本次期地区代表幹事より、次期ガバナー補佐、次期地区委員会委員長の紹介があつた。最後に高橋ガバナー、亀井ガバナーノミニの挨拶でこのセッションは終了になつた。引き続き私たちは大ホールにて第1セッションで篠原ガバナーエレクトによる「次期RIテーマと地区活動方針」というテーマで講演を拝聴した。同時に小ホールにて、会長エレクト・AG・CC会議が行われたようだが出席していないので内容は不明。

14時30分ごろから各会場に移動して、第2セッション分科会が行われた。大ホールでは①戦略計画②研修情報・職業奉仕の合同分科会。2F大会議室では③公共イメージ④会員基盤強化の合同分科会。小ホールでは⑤ロータリー財団⑥奉仕プロジェクトの合同分科会⑦青少年奉仕は1F展示室A⑧米山記念奨学は小ホール前の市民ホール⑨大ホール前、ホワイエでは新会員の分科会が実施された。

私は公共イメージ委員会所属なので、会員基盤強化の藤村会長と一緒に参加した。公共イメージ委員会としては地区ホームページの改善と、各クラブの取材に重点をおいている。私も昨年美濃RC、昨日は郡上長良川RCの取材をした。毎月1回のリモート会議と、3ヶ月に1回の名鉄グランドホテルでのリアル会議に参加している。私の事務所のパソコンは

カメラもマイクもないので、近藤委員長の事務所へ毎月出向く。あの時、ジャンケンで勝っておればと思わないこともない。少々大変であるが、受けた以上仕方ない。

第2セッション終了後、大ホールに戻り閉会セッションが行われたのだが、この時には多数の人が帰つたようだ。空席が目立つ。少し残念に思う。次回の地区大会は、初日が名古屋観光ホテルで11月17日金曜日に。2日目が多治見で開催とのこと。少し変則的だ。点鐘後、解散となつたのだが、とにかく1日寒かつた。関に戻り、喜久生先生とも合流し、味のまごろくで冷えきつた体を一杯あたためた。その後遺症で日曜日はもっと大変になつてしまった。

前田仁夫君

主に分科会の内容について

来期の地区研修に私は米山記念奨学部門に参加してきました。私達ロータリアンが定期的に寄付するものはロータリー財団と米山奨学



です。ロータリー財団は、全世界のロータリークラブからの献金で運営されていますが、米山奨学は日本のロータリークラブからの献金で運営されている日本独自の国際奉仕事業です。日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援することにより、日本と世界との平和の懸け橋となる人材を育てています。ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成し、これはロータリーの目指す「平和と国際理解」を推進してゆくものです。

この事業は1952年（71年前）東京ロータリークラブで始まり、1957年、日本国内全ロータリークラブの合同事業になりました。1967年にこの米山記念奨学会が財団法人となり、2012年公益財団法人に移行しました。

このロータリーの米山には他の奨学金の団体とは違い、世話クラブとカウンセラー制度があります。ここが一番違うところです。奨学生一人ひとりに地域のロータリークラブが「世話クラブ」となり、会員が「カウンセラー」となって日常の相談役もつとめます。米山の奨学生は世話クラブの例会やクラブや地区の活動に参加し、ロータリアンの交流を通じて平和の心、奉仕の心を学びます。当クラブは4～5

名程の奨学生の受け入れをしています。今回は、米山奨学カウンセラーは高井良祐さんで、中部学院大学 李 凱欣さん（香港）を受け入れました。

奨学金プログラム

一部を除き、全ての日本で学んでいる留学生が対象です。指定校から推薦された学生を地区の米山関係者（役員）が選考します。

学部課程 四年制の大学 月 10 万円最長 2 年間

修士・博士課程 大学院 修士 2 年 博士 4 年

月 14 万円最長 2 年間

地区奨励 短大・高専・専修学校

月 7 万円 1 年間

〃 〃 月 10 万円最長 2 年間

これまでに米山が支援した奨学生数

累計 22,875 人（中国 34.9% 韓国 20.6% 台湾 15.6% ベトナム 5.8% マレーシア 4.7%等）

毎年、全国で米山奨学生は約 900 名前後でこの 2630 地区では 17~20 名の受け入れがあります。米山奨学会を卒業すると米山学友会となります。

奨学金（学友会）をもらった人から

ロータリアンになった人 272 人

ガバナーになった人 3 人

米山学友中心のクラブ 6 クラブ

米山学友会は、元米山奨学生を中心とする同窓会組織で日本で 33 と海外 9 計 42 の学友会があります。

西田健一君

主に分科会の内容について

私は研修情報、職業奉仕委員会分科会でしたのでそこでの話をお話しさせていただきます。浦田幸一

パストガバナー、岩田勝美次期研修委員長、菅内章夫次期職業奉仕委員長の 3 名の講師でありました。まず初めに浦田パストガバナーより日本で大切にされてきたロータリー観は、親睦・学び・成長奉仕である。

ロータリーの戦略計画

<2 つのモットー>

1 つ目は最も奉仕するもの最も多く報いられる

2 つ目は超我の奉仕

ロータリーの目的について



意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励しこれを育むことである。

例会の重要性

入りにて学び出でて奉仕 例会で学び、そして実践奉仕

例会はロータリー活動を支える重要な場

奉仕の心を未来につなげよう 子どもたちの未来のために

日本における子どもの貧困問題、ひとり親家庭の貧困率は 48.1%、ひとり親家庭では子供 2 人に 1 人が貧困です。

教育格差

厚生労働省の調査によると、困窮層のうち半数が小学校 3 年生でまでに授業が分からなくなったと回答しているとのことです。

最後に、私たちロータリアンは倫理と高潔さをもって仕事に当たり社会の役に立たなければなりません。例会で学び、話し合っていて困っている人を助けてくださいと結ばれました。

続いて岩田研修委員長より

職業奉仕と例会について

ロータリー歴の浅い会員向けに、例会で時間の余裕がある時など、5 大奉仕について一つずつ簡潔にスピーチをしたり、或いは直近で研修会に出席した各委員長にセミナーの内容を報告していただいたりクラブ会員が少しずつ「ロータリーの知識」を高め、興味を持てるよう活動し、自分がロータリーのことをよく知らないと新しい人に説明ができません。クラブ活性化のためにも研修を続けてくださいと結ばれました。

最後に菅内職業奉仕委員長より

冒頭、職業奉仕と例会について

- (1) 例会は、重要な場ととらえ有意義な開催を行う
- (2) 例会では会員卓話（職業奉仕）をたくさんして親睦を深める
- (3) 1 月の職業奉仕月間にあわせて、クラブの職業奉仕委員長が、関連卓話をする

その後、

- ① ロータリーの起源と職業奉仕
- ② 職業奉仕の概念
- ③ 職業奉仕と例会

について話をされました。その後質疑応答があり閉会となりました。

大藪太君

全体のまとめ

4月15日土曜日、小雨の中、多治見市バロー文化ホールにて、国際ロータリー第2630地区・地区研修会・協議会が開催されました。午後1時の点鐘に始まり、約40分の開会セッションが大ホールにて行われ、その後第1セッションとして、小ホールにて会長エレクト、次期ガバナー補佐、次期地区委員長会議、大ホールにてその他会員参加のガバナーエレクト講演が行われました。午後2時30分より第2セッションとして、各分科会に分かれました。私が参加した青少年奉仕分科会では、青少年奉仕、ローターアクト、青少年交換、インターアクトの各次期委員長による発表が行われ、最後にカウンセラーである岡田パストガバナーと木村パストガバナーによる総評がありました。

岡田パストガバナーによる総評

・青少年奉仕

クラブにお世話になるのではなく、クラブの中の数人の人にお世話になる。そういう熱心な人間がクラブの中にいれば、青少年奉仕活動には色々な部門があるが、必ず成功する。それだけすばらしい人がいるはずである。

・ローターアクト

ローターアクトが一番難しいと思う。私はボランティアという言葉が大嫌いであり、そしてボランティアは今いないと思う。している方もいますがそういう人はローターアクトの意味が分かりません。日本人が最も苦手なのはボランティアであります。ロータリーは奉仕活動だから、ロータリアンは個々には奉仕活動はされていると思います。しかし集団での奉仕はやっているようでやっていない。やらされているというのが実情であります。

・青少年交換

これは大変難しい、私は個人的にやめても良いと思っている。昔からアメリカから交換学生が来ているが、まともな子は1人もいない。ほんのたま



にすばらしい子がいるが、そういう子はある程度日本語が出来ます、そしてそういう子はもっともっとうまくなろうとします。しかしそれ以外は「エンジョイジャパン」で来る。私がガバナーの時2人返しましたが、1人は可児だか美濃加茂だかに来た男の子で、学校は行かない、引きこもり、どこ行ったか分からない。返そうとしたら「ガバナー、あと2ヶ月おらしてくれ、京都、大阪まで行ってないから」といわれ、しばいてやるかと思った。もうひとりの子は、アメリカは6月が卒業式なので、研修が7月までであるのにそれを無視して帰りたいと言いました。ただ、オーストラリア、ニュージーランド、フランス、スウェーデンなど北欧から来る子は初めから日本語が少し話せます。委員長に言ったのはアメリカから来る子には「日本語が出来ますか」と聞いて欲しい。片言の日本語で良いから話せる子が来てくれたらすばらしいこと。アメリカは成績順で交換先が選べ、成績のよい子から「私はドイツ、イタリア、スペイン」を希望し、最後に残るのがアジアであり、アジアに来る子は不満をもって来ます。一方日本の子はアメリカへ行きたがる子が多いが、交換で来るアメリカ人はそれが出来るかどうか。片言の日本語が出来ればすばらしい。

木村パストガバナー

・インターアクト

日本の高校生は野球やサッカーなどのスポーツや、演劇、合唱などいろんなコンクールに出るなど活躍する生徒が多くいるが、他方では自殺をする生徒などもいる。1つはコロナによる引きこもりの影響もあるだろうが、日本は他の先進諸国と比べて、自殺する生徒が格段に多い。受験体制や日本の社会などさまざまな原因があるだろうが、仲間と少し違うことをするといじめの対象になったり仲間はずれになる。そういう傾向が日本にはある。青少年の直面する問題としてこのような精神面の問題があり、ロータリーとしてもそのままにしておくことは出来ないと思う。生徒たちを対象に出前講座などを行い、職業人の話などをする学校という狭い世界ばかりではなく、社会とい

う広い世界が分かってくる。また青少年交換で海外での経験をしたり、インターアクトで何か奉仕活動をするということは、他人のために何かするということがやりがいに繋がると思うし、何か役割を持って活動することに意義があると思う。私はインターアクトのカウンセラーになって1年経ちますが、見ていると高校生は社会の問題に意外と関心を持っており、環境問題やいかに二酸化炭素を減らすかというような問題にも深い関心を持っています。あるいはウクライナの問題に関心を持って、ブルーとイエローのリボンを展示したりして、その普及に関心を持っていたりします。スポンサーであるロータリークラブとしてもそういう点を踏まえてサポートして、青少年が奉仕活動によって自己実現をしていく機会を提供することが大切に思います。今年にはインターアクトで韓国との交流が再会しますが、3年ぶりなので、学校のインターアクト顧問の先生や生徒も、ロータリーとインターアクトがどういう関係があるのか知らないかもしれません。もう一度1から始めるような感じでロータリーとインターアクトが接触しないと行けないかもしれない。そういう意味で委員の方もご苦勞ですし、韓国と交流される上野ロータリークラブもホームステイなど、色々大変なことがあると思いますが、意義のあることですのでよろしくお願ひします。分科会終了後、4時20分より再び大ホールにて閉会セッションが行われ、4時50分の点鐘で終了しました。

*地区研修・協議会 集合写真

2023年4月15日(土)

多治見市バロー文化ホール



*出席委員会

会員数29名、本日の出席17名です。

*ニコボックス委員会

- ・会長、副会長、幹事

先週の地区協議会出席の皆様には大変お疲れ様でした。本日報告戴きます4名の皆様には宜しくお願ひ致します。

- ・前田仁夫君

来年で90才になります。仕事のことやRotaryのことも今身の整理をしています。Rotaryの整理をしていましたら35周年の幣クラブ記念誌がありました。各自お読みになったら捨てるなり何なりして下さい。ありがとうございます。

17名のご投函ありがとうございました。

*幹事報告

- ・トルコ・シリア大地震災害義捐金について
トルコ被災地区の第2430地区に送金
地区内で3,558,973円の義捐金
各地区からの義捐金総額 88,604,966円
- ・例会終了後、理事・役員会を行います。

<次例会の案内>

第2100回 2023年5月11日(木)

卓話 (有)関環境サービス

専務取締役 溝口 泰史様

テーマ 高純度バイオディーゼル燃料について